

通木

K o m o r e b i T s u s h i n

信もれ日

第54号

平成27年7月
つきだて花工房発
季刊誌

◎つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりとやさしさを持ち続けるみなさまの公共施設を目指します。

「花の王様」の異名をもち、ヤマユリ
里山の女王を咲かせる花の女王
輝きを放つ



里山には思っている以上に多くの花が、様々な季節に咲く。

もちろん、花壇のような華やかさはないが、足下に注意しながら歩くだけで様々な花を見つけることができるし、そういう花をひとつ見つければ「他にもないか」と視界が広がってより多くの花が見えるようになる。

また、中には栽培品種を凌ぐほどの芳香を持つ花も多い。風に漂ってくる芳香を、花を頼りに辿ってみる。荒れた里山ではなかなか見つけるのもむずかしいかもしれない。梅雨も終わり間近、肌にもとわりつくような暑さと湿度、「シンシシシシー」と虫の声のようなヤブサメ(鳥)の鳴き声。木の間にちらりと見えた白いものを目指して草をかき分けて進む。汗の匂いをかぎつけてたかるヤブ蚊に悩まされながら進めば、そこに現れたのは「ユリの王様」と言われるヤマユリ。年数を経た株は頭頂にくつもの豪華な花をつける。全方位を向いた花々が十一面観音菩薩を思い起こさせる。近くに寄れば強烈な香りに、頭の奥がしびれるような感覚を覚えるほど。

6枚の純白の花びらのそれぞれには付け根から先端にむけて中心に黄色の筋が入り、赤い斑点が散りばめられる。花びらの縁は優雅にウエーブを描きながら、先端が後ろへ反り返る。めしべを取り囲むおしべの先端を、オレンジがかつた色鮮やかな花粉が豊かに彩る。

つぶさに観察するにつけ、豪華な作りである。

伊達市に合併した月館町の花はヤマユリ。豊かだった頃の里山の山裾を、かつてはこの花が飾り立てていた時期があったのだろうか。花工房のシンボルマークにもこの花があしらわれている。花工房の散策路では、暖かくなればそれとわかる芽が吹き、蒸し暑い夏には花を楽しむことができる。

ヤマユリ(に限らないが)はウイルスに弱いらしい。去年見つけたはずの場所に行つたところが肩すかしということがあったのは、ウイルスにやられてしまったためだろうか。

ヤマユリに限らず、猫を飼っている家庭ではユリの花は注意を要する。猫にとつてユリ科の植物は猛毒となる。どの部位ということではなく、ユリを活けた花瓶の水さえ中毒の原因となるという。ほんのわずか、葉を噛んだだけでも腎機能に致命的なダメージをおこすので、猫を飼っているのならユリの花はたとえ「いただきもの」でも遠ざけていただきたい。



緑陰の濃い里山でひとときわ目を惹くヤマユリ

お客様ノオト

このノートはたくさんのお客様の笑顔と思い出が詰まった
つきだて花工房の宝石箱です



◆月館クラブ様

7年前、宮崎県で開催されたソフトバレーの全国大会でお知り合いになられた鹿児島の佐藤様を囲み宴会されました。スポーツが結んだ絆は震災を通じてなお強いものになったそうです。遠く離れていてもお互いを思いやる気持ちが素晴らしいですね。



◆大河内由美子フラ交流会様

フラダンスの講師の大河内様を囲み、素敵な手作りの衣装を身にまどって思い思いのフラダンスを披露され、楽しんでいらっしゃいました。つきだてのハワイ「つきだて花工房」へようこそ。



◆余目一輪車クラブ様

福島市で活動されている一輪車クラブの方々です。世界大会に出場された経験もあるそうです。この日は親子で親交を深めていらっしゃいました。バランス感覚抜群なんでしょうね。



◆丸山様

川俣にご実家があり久しぶりにお墓参りも兼ねて埼玉、群馬より3組のご家族で宿泊されました。新緑のきれいな時期にかわいいお孫さんと一緒に写真を撮らせていただきました。

つきだて交流館もりもり オープン10周年

4月29日つきだて交流館もりもりはオープン10周年を迎えました。これを記念し、クイズラリー大会が開催され、60名の方々が参加されました。月館糠田地区の歴史を尋ねながら、コースを周り、設定タイムが一番近かった方に花工房利用券がプレゼントされました。他に、坂車グランプリ、組み木体験、ミニピザ作り体験なども同時開催され、賑やかな一日になりました。



◆斎藤徳雄様

ゴールデンウィークの焼き火パン作り体験に斎藤徳雄様のご家族で参加されました。

徳島から里帰りされた娘さんご家族と地元の息子さんのお嫁さんとお孫さんたちと竹にこねた生地を巻きつけ焼き火で焼き、スープとともに試食。「皮がパリッとして、中が柔らかくてフランスパンみたい!」と歓声があがり、久しぶりの家族勢揃いで、楽しいひと時だったようです。



「福が満開、福のしま。」旅行券。つきだて花工房で使えます。

「みんぼう伝次郎クラブ」会員証をご提示いただくとランチメニューを5%引きでご利用いただけます。(ご本人様のみ/年末年始を除く)

「花薫る郷 つきだて花工房 フォトコンテスト」

入賞作品発表

前号でお知らせしたとおり、つきだて花工房に一年でもっとも花が溢れる5月から6月初めにかけて、花工房でお撮りいただいた花をテーマとした写真をみなさまから募集しました。ご応募いただいた作品は全部で17点。その中から、最優秀作品を一点、優秀作品を二点お選びいたしました。選者は福島市で「フォト・エンドー」を営み、元二科会会員でもある遠藤日出夫さん。応募点数はやや少なかったもののどの作品も力作揃いでした。

時期的にはやはりポピーをテーマにした作品が多かったようです。

- 優秀賞：菅野勝正 様(伊達市霊山町)
 入賞：佐々木正男 様(伊達市梁川町)
 入賞：佐藤良一 様(福島市飯野町)



優秀賞 菅野勝正 様「朝に咲く時」



入賞 佐藤良一 様「初夏の家族」



入賞 佐々木正男 様「ポピーに想いをよせて」



作品は元二科会会員の遠藤日出夫さんに選考していただきました

花々日記

「自然」「天然」は安全?

遅れていた当地の梅雨入りがようやく6月25日に発表されました。平年より2週間、昨年よりは3週間遅れたようです。一方で沖縄では異例に早く、また九州南部では記録的な豪雨にもなっているようで、このような気候変動が人間の経済活動によるものなのか、長いスパンでの「振れ」なのか、気になるところです。

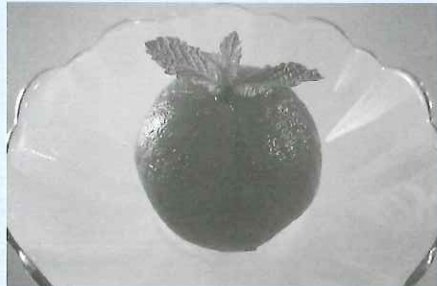
梅雨と言えば高温多湿の時期、食品のカビや食中毒が気になる季節でもあります。給食のパンを机に入ればなしにして、見るも恐ろしい状態になった経験をお持ちの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。カビが怖いのはカビそのものよりもカビが生成する毒性物質です。例えば「マイコトキシン」。カビそのものが死滅してもこの物質は残ります。また熱に強く、通常の調理過程で分解されません。一定の量を摂取すれば中毒症状をおこすなど、

からだに悪影響を及ぼします。また、表面にほんの少しカビが生えた状況でも、顕微鏡などで詳しく観察するとその食品全体がカビだらけ、というような状態のようです。

話はそれますが、小麦に発生する「赤カビ病」もマイコトキシンを生成する、カビによる病気で、適期に消毒することが奨励されています。先にも書きましたが、「焼く」などの調理加工で分解されないため、健康被害に直結する物質です。適切に使えば問題ないとされる農薬の残留量と天秤にかけると、どちらがより問題になるのでしょうか。

パンと言えば大手メーカーのパンはなかなかカビが生えないようです。よく「(食品)添加物が入っているからだろう」という方もいるようですが、果たしてそうでしょうか。確かに添加物の中には食品の劣化を防ぐものもありますが、それ以上に徹底した衛生管理によるところが

季節の一品 トマトの蜜煮



材料 (4人分)

〈材料A〉		〈材料B〉	
・トマト	4個	・水	600cc
(湯むきしておく)		・ハチミツ	100g
・レモン	1/2個	・グラニュー糖	100g
(スライスしておく)		・白ワイン	適量
※レモンをライムに替えても			

〔作り方〕

- ① 材料Bを鍋に入れ、砂糖・ハチミツが溶けるまで火にかけ、材料Aを入れてひと煮立ちさせます。
- ② ①を冷まして1~2日漬け込みます。
- ③ 器に盛り、お好みでミントなどを添えて完成。

厨房のイチオシ!

6月からお料理が夏メニューになりました。夏野菜や旬の食材を使った今回の献立から、おすすめを紹介します。

まずは伊達鶏の生春巻です。もちっとした食感の生地に伊達鶏のほぐし身とレタス・胡瓜・筍を巻き特製の甘辛ソースでいただく一品です。そして、もう一品がトマトを丸ごとつけたトマトの冷製です。インパクトのある見た目に加え、トマトの旨みを引き出す味付けと「もちろし館」との相性が絶妙の一品です。ぜひ、ご賞味ください。

自然 天然 安全



大きいようです。大手メーカーなどでは加工する部屋への出入りに徹底した異物混入防止・除菌対策が施されており、包装工程まで菌が入り込まないような対策がされています。配送でも温度管理がされるなど、菌類が好む環境を可能な限り除去しているようです。もちろん、そうした対策には多額の費用がかかるはずですから、大手メーカーならではの強みとも言えます。

それはそれとして、私たちは「天然」「自然」という言葉から「安全」「安心」というイメージをなんとなく連想してはいないのでしょうか。ここでも見てきたように、自然の中にもさまざまな危険があります。言葉に惑わされることがなく、そういうものをきちんと認識して的確に防御することが大切だと思います。

2015
8/8
Sat.

アニバーサリーコンサート

TSUKIDATE HANAKOBO ANNIVERSARY CONCERT

星に願いを

夜空を彩る星たちのように

世界中にちりばめられた名曲の数々を

弦楽四重奏とチェンバロとともに巡る旅へ



— 出演 —

と き 平成27年8月8日(土)
 (昼の部) 14:00開演(13:30開場)
 (夜の部) 19:00開演(18:30開場)
 ところ つきだて花工房 けやきの間
 料金 2,000円(一般) / 1,000円(小学生)

ヴァイオリン 福田 貴子
 富山 宏基
 ヴィオラ 出口 貴子
 チェロ 竹林 良
 チェンバロ 五十嵐裕子
 チェンバロ調律 佐藤 俊二



—プログラムより—

モーツァルト: アイネ・クライネ・ナハトムジーク / アヴェ・ベルム・コルプス
 ヘンデル: チェンバロ協奏曲
 バッハ: ゴルドベルグ変奏曲テーマ「アリア」
 F.クープラン: 牧歌
 ポール・マッカートニー(ビートルズ): イエスタデイ
 リー・ハーライン(ディズニー): 星に願いを 他

※曲目に変更となる場合があります

福島駅西口より無料送迎バス運行

要予約

モノ作りおとワニア
大盛況 5/30・31

風薫る5月最終週の土日、6回目となる「モノ作りおとワニア in つきだて花工房」が開催されました。今回も日本各地から百件を超える応募から選ばれた、60組の腕自慢のクラフト作家が様々な作品を展示販売しました。

木工や焼き物、さまざまな素材のアクセサリーなど、見ているだけでも楽しくなる作品がいっぱい、会場を何周もされた来場者もいました。今回は土曜日の朝にKFB(福島放送)の中継もあったためか、いつも以上の盛況となり、五千五百人を超えるお客様にご来場いただきました。また、一日目には南米音楽(フォルクローレ)、二日目には地元「女神太鼓」や人気のご当地ジャズバンド「ファジーネール」のライブ演奏もあり、たくさんのお客様が音楽を楽しんでいらっしゃいました。なお、来年も5月の最終土日に開催予定です。乞うご期待!



野生のクレマチス「カザグルマ」

前号の巻頭でクレマチスのことを掲載したところ、宮城県の高崎興平様より、ご自宅近くの山に自生している原種のクレマチスの一種「カザグルマ」の写真をメールでいただきました。このあたりに自生しているクレマチスの仲間のみな、小さい花をつけるものばかり。山を歩いてる途中でこんな大輪の花に出会うたらびっくりしそうです。



ただ、山は年々荒廃が進んでいて今後が心配とのこと。カザグルマが自生できるような環境が守られていくといいのですが。

お便りから

◆木もれ日通信いつも楽しみに見えています。今回は「クレマチス」私も花も好きなのでカラーだったらどんな色なのかな?と想像していました。花はいいですね!

(桑折町 S・E様)

◆表紙の高野憲一さん宅の話、一度花時にぜひ伺いお庭を見たいと思います。きれいな花や可憐な花は、人の心を癒やす力があります。疲れた心、身体には一番です。

(川俣町 S・K様)

木もれ日通信ではみなさまからのお便りを随時募集しております。

郵便またはメールでも受け付けております。ぜひお寄せ下さいませ。



木もれび 54号
プレゼント

貴重な天蚕を使用
手織りの
名刺入れ
1名様にプレゼント



ご希望の方は官製はがきに住所、氏名、電話番号、年齢と木もれ日通信54号で印象に残った記事および感想をご記入の上、プレゼント応募券を貼ってつきだて花工房までお送り下さい。平成27年9月30日の消印まで有効です。なお、ご記入頂いた個人情報、保管し、当館のご案内をお送りするほか、サービス向上のために利用させて頂きます。

木もれ日通信53号プレゼント当選者
 埼玉原 すずき大和 様
 梁川町 渡辺栄子 様
 霊山町 高橋まさ子 様

編集後記

福島市の「夢奏蔵」でチェンバロと笛のコンサートを拝聴。花工房とはまた違った独特の空間が心地良し。

(つきはな)

自然の力はすばらしい。疲れた体を森林力、素敵な景色、きれいな花、さもちい温泉で癒しています。うとうしい雨も植物や野菜には恵となり生き生きしますよね。

(さち)

夏到来! 山の緑は濃く、木々の間からはセミたちの合唱...でも一番は、夏の夕暮れ時。あの、何とも言えない雰囲気が好きです。

(あか)

今年先輩方の意見聞きながら、肥やしをたっぷり入れて植えたジャガイモ。1株掘ってみたら去年の2〜3倍の収穫がありそう。どんな料理にしようか楽しみです。

(厚子)

ムーン
セラヒー

月の明かりで疲れた
心を癒したい。
いますぐカレンダーにチェック!!

【満月の夜】

7/31(月)
8/30(日)
9/28(月)

【新月の夜】

8/14(金)
9/13(日)
10/13(火)

※休館日
8/18, 9/8, 10/20 (全て火曜日)

木もれ日通信54号
読者プレゼント
応募券